

科目分類	看護専門科目 領域別看護	開講時期	1年 後期
授業科目	地域・在宅看護学概論		
選択／必修	必修	単位数(時間数)	2単位 30時間
担当教員	家根 明子 ・ 鈴木 隆史	授業形態	講義
メールアドレス	a-yane@tsuruga-nu.ac.jp(家根) t-suzuki@tsuruga-nu.ac.jp(鈴木)	オフィスアワー	随時可能であるが、事前に予定を確認することが望ましい。

授業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・社会環境の変遷に伴う人々の暮らしや健康状態の変化を踏まえ、地域看護の意義と活動のあり方について考える。 ・人々の生活の基盤となる在宅において行われる看護の特徴や対象の範囲、健康レベル、生活要素、影響される因子等を理解する。また在宅看護を必要とする背景を捉えながら、在宅看護実践の手段としての訪問看護の目的・特徴や対象者を取り巻く地域包括ケアシステムに関わる関係職種との協働について学ぶ。
授業概要	<p>人々の生活の基盤となる地域の理解と、そこで行われる看護活動の歴史的変遷や今日的課題を概観できるように教授する。併せて、住み慣れた地域で生活する人々の特徴の理解と、QOLの向上に携わる看護職の役割や協働的支援の基礎について、実践的事例等を用いて教授する。</p>
授業内容	<p>第1回 地域とは 第2回 地域看護の理念・目的・地域で生活する人々の理解 第3回 健康課題の変遷とヘルスプロモーション 第4回 地域看護活動の歴史的変遷 第5回 地域看護活動における看護職の役割とヘルスケアシステム 第6回 学校における看護の意義と役割 第7回 産業保健における看護職の役割 第8回 地域における健康課題の事業化・施策化・政策化の考え方 第9回 社会的背景を踏まえた在宅看護の現状と課題 第10回 在宅看護の目的・対象・場 第11回 在宅看護に関わる法制度とその活用 第12回 在宅療養を支える訪問看護ステーションの活動と特徴 第13回 在宅療養を支える家族の理解と支援 第14回 地域での療養を支える専門職とその役割 第15回 自分らしい生き方を尊重した支援</p> <p>担当 第1回～第8回 鈴木 第9回～第15回 家根</p>

<p style="text-align: center;">教科書 参考書等</p>	<p>教科書：</p> <p>①宮崎美砂子ほか 最新 公衆衛生看護学 総論 第3版 2022年版 日本看護協会出版会</p> <p>②国民衛生の動向 厚生労働統計協会</p> <p>③河原加代子ほか 系統看護学講座 在宅看護論 医学書院</p> <p>関連する資料はその都度配布する。</p> <p>参考書：</p> <p>①医療情報科学研究所 編 公衆衛生が見える メディックメディア、(最新版を購入すること) ほか適宜紹介する。</p>
<p style="text-align: center;">成績評価 基準・方法</p>	<p>定期試験(70%)、課題(30%)で評価する。</p>
<p style="text-align: center;">履修要件</p>	<p>特になし</p>
<p style="text-align: center;">留意事項 その他</p>	<p>本科目を履修していないと、在宅看護学Ⅰ、地域看護学実習Ⅰ・Ⅱおよび地域看護管理実習は履修できません。</p>